

# 石川県立図書館

Ishikawa Prefectural Library

石川県立図書館

石川県金沢市小立野 2-43-1



今や石川県のシンボルにもなりつつある石川県立図書館。秋田県の国際教養大学の中嶋記念図書館をはじめとして、数々の名建築を手掛けた仙田満氏によって設計され、「百万石ビブリオバウム」の愛称で親しまれています。第8回を迎える学びの図書館紀行では、そんな石川県立図書館の魅力をたっぷりとお伝えします。

BiblioBaum

百万石  
ビブリオバウム

## 「日常にとけこむ、心地よいひらめきの場所」

公共図書館という日常にとけこんだ施設にも関わらず、様々な用途や使い方ができる。それが石川県立図書館の大きな魅力になっています。思い思いの時間を過ごせるサードプレイスでありながら、非日常も味わえる理想的な場所は、日々の生活に刺激とひらめきをもたらします。

### 01 コロッセオを思わせる圧倒的なグレートホール



エントランスから足を踏み入ると、まるでスタジアムやコンサートホールに初めて行ったことを思い出すような景色が広がり、私たちが非日常へといざないます。グレートホールを構成する樹の造形美に圧倒されながら歩みを進めると、自然光を取り入れながら、間接照明が足元を照らすあたたかな空間が迎えてくれます。閲覧エリアを一望できる吹き抜けの大空間の中心には、羅針盤のような方位マークがあり、「これからどんな本と出会えるんだろう」という高揚感がわいてきます。円形の幾重にも重なるレイヤーが折り重なる書架は、独自の12に渡るテーマで再編成され、興味を掻き立てられる方向へ自然と足が向かっていきます。

◀最上フロアから見下ろしたグレートホール

### 02 セレンディピティー思いがけない出会いーを生み出す空間

石川県立図書館は大きく3つに分かれます。グレートホールを中心とした1～4Fにかけて広がる「閲覧エリア」。こどもの興味をかきたてながら親も楽しめる「こどもエリア」。イベント開催など、本だけではない交流が生まれる「文化交流エリア」。これらのエリアは、その日の気分や目的に合わせて思い思いの過ごし方ができる空間です。館内にはグレートホールの12のテーマをはじめ、様々な切り口から展示や配架が行われ、思いがけない出会いを演出する工夫がこらされています。



▲独自の12テーマが書棚に彩りを与えます

### 03 ゾーニングで変化する体験スタイル

喧噪でも静寂でもない、ちょうどその間にある石川県立図書館の空気感は、感性を刺激し、心地よい雰囲気醸し出しています。館内は図書館によくある“私語厳禁”という縛りはありません。本との出会いは、コミュニケーションが加わることでより想像力に満ちたものへと変わっていきます。にぎやかなこどもエリア、食事やドリンクを楽しめるカフェがある一方で、静かなサイレントルームも設置されています。他にもイベントや読書スペースとして使われるだんだん広場や、モノづくり体験スペース、オープンキッチンを備えた食文化体験スペースなど、バリエーション豊かなスペースは私たちを飽きさせることがありません。ゾーニングをすることで、訪れる人々がそれぞれの好みに合った体験スタイルを選べることも大きな魅力です。



▲アスレチックのような空間の中に本が散りばめられたこどもエリア

### 04 お気に入りのチェアを探しに



館内にはいたるところに形や座り心地が異なるソファやチェアが配置されています。“百花繚乱”の言葉にふさわしい500席の閲覧席には、思わず自宅に置きたくなってしまふようなソファやチェアがいたるところに並んでいます。席が置かれている空間と共に、その日の気分で席を選んで読書を楽しむことができます。



## 05 歩くほどに見つかる、いろんな見どころ



<本のページを「めくる」イメージを表現した外観>

手入れの行き届いた芝生と木々の先にたたずむ石川県立図書館は、入口にたどり着く前からワクワクを感じられずにはられません。ところどころに緩やかなカーブを描く壁と壁との間に窓が配置されているため、直射日光があまり入らず本にもやさしい構造になっています。

<本の宇宙を体験できるブックリウム>

手もとのテーブルスクリーンに触れるとプラネタリウムの星々のように本が踊りだし、まだ見ぬ出会いへといざないます。お気に入りの言葉やキーワードから、気の向くままにお気に入りの本を探せます。大迫力の幅 15m のウォールスクリーン。本の宇宙を体験できるデジタルアートは飽きることなく眺めていたくなる空間です。



<図書館全体を彩る「加賀五彩」>

図書館の中心に位置する方位マークや12テーマのサインなど、館内のいたるところに加賀五彩があしらわれています。加賀五彩は、和の落ち着いた色味でありながら鮮やかさもあわせ持つ、加賀友禅にみられる伝統色です。道ゆく先々で彩り豊かな加賀五彩が、私たちを出迎えてくれます。

<グレートホールに浮遊するブリッジ>

グレートホールの3Fには吹き抜けを貫くようなブリッジが架かっています。外光が差し込む天井と地上の間に位置し、まるで空中を漂っているような感覚を味わえます。これまで巡ってきたフロアを一望できるブリッジからは、360度館内を見渡しながらか本を読むことができる特別な空間です。



<目当ての本も、“なんとなく”も>

図書館には本を探せるコーナーが多数あります。本の名前で検索しても、気になるワードで検索しても、読みたい本にたどり着けます。

「SHOSHO ISHIKAWA」は石川県立図書館にある本・雑誌・古文書・新聞など、所蔵するすべての資料を検索できます。インターネットでも楽しめるので、ぜひアクセスしてみてください。